

はっとしたことを詩に書こう

～未来のために自分たちにできることは何だろう～

校種・学年	小学校・第3学年	教科等	国語科
時間・学期(月)	6時間・後期(11月)	副読本	全ページ
準備等	写真資料、副読本		

1 ねらい

身近な環境問題に目を向け、想像したことをもとに、表現を工夫して詩を書く。また、環境問題について書いた詩を友だちと読みあって、工夫点や改善点を書くことができる。

2 伸ばしたい資質・能力

- 情報を選び取り、諸課題について自分事として考える力
- 詩を通して、自分が伝えたいことを相手に伝える力
- 作品を通して他者理解を育み、課題解決する力

3 指導計画(全6時間)

時間	主な学習活動・内容等
1	○ 学習のめあてを捉え単元の見通しをもつ。環境問題についてウェビングマップを作る。
3	○ 詩を読んで、書き表し方の工夫や表現の優れているところを見つけ、詩の書き表し方について理解を深める。詩の作成・推敲を行い、作文用紙に表す。
1	○ 作品を通して友だちと交流。アドバイスをもとに推敲する。
1	○ 画用紙に清書し発表する。

4 本時の学習指導(本時 5/6)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
5	○前時までの学習を想起する。 ○本時の課題を確認する。 友だちの作品を読んで、工夫しているところを見つけよう。	○「交流のポイント」「付箋の書き方」をふまえて、付箋に記入させる。 ◎詩を友だちをと読みあって、工夫点や改善点を書いている。 [書くこと] (付箋)
15	○学習課題に取り組む。 (1) 作品を班で読み合い交流のポイントをもとにふせんに記入する。	○各班で良い作品を選び、全体で発表させる。さらに教師が意図的指名で優れた作品の発表者を選ぶ。
10	(2) 班の中で良い作品を選ぶ。全体に発表する。	★「広げよう！STOP 温暖化」各ページを作品と共に掲示
5	(3) 付箋をみて自分の作品をふり返り、友だちからのアドバイスをもとに推敲する。	○「推敲の仕方」をもとに書き足しや書き直しを行わせる
3	(4) 推敲した作品を発表する。	○友だちと交流することの良さに気づかせる。
2	○本時のまとめをする。	
5	○ふり返りカードを記入し、次回の学習の見通しを立てる。	

5 他教科等とのつながり

- 3年生社会科「かわってきた人々の暮らし」
- 3年生道徳科「おいしい給食」

6 社会とのつながり

- 栄養士、給食センターの方の講話
- 家庭や地域の人たちとの対話

7 おすすめのポイント（さらに、効果アップ！）

- 保護者の方と詩を読みあって、学んだことや考えたことを伝え合ったり、地球規模の課題について一緒に考える機会をもつと、学習がより深まる。
- 学習したことを基に自分たちにできることを選択・判断させるために、学習前の自分の考えを記録し、活用することで、学習を通して自分の考えがどうなったのかが実感できる。
- 自分の考えの変容が、具体的な行動にどう表れるかについて、「エコライフデー」を活用するとよい。

8 授業後の児童の感想、参観された方の感想など

- 詩の交流を通して今すぐ取り組める環境問題について、友だちが考えていることや伝えたいことがわかった。
- 交流したことをふまえて自分の詩の構成を見なおす活動を盛り込むと良い。

9 研究協議の内容

- 自分の詩を見なおす活動のため、交流の時間を前時の授業で行っておく。
- 各活動に移る際の指示をするとき、掲示物等の見本を提示する。
- ふり返し用紙を用いて授業の足跡を残し、可視化できるようにする。